

# 単径ヘルニアの手術(全身麻酔)を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	
目標	手術前の準備がすすめられる。		痛みやその他の苦痛にできる限り対処しながら、安静に過ごすことができる。	手術創に問題がない。痛みの増強がなく、歩くことができる。	手術創に問題がなく退院できる。
処置	肺塞栓予防のために着用する弾性ストッキングのサイズをはかります。 医師が手術用のバンドをつけます。	弾性ストッキングをはきます。 メガネ、入れ歯、貴金属、時計などはずして、手術室に歩いて行きます。	手術後、酸素吸入をします。 手術後の全身状態の観察のため、看護師が適宜血圧や体温測定を行います。	朝まで酸素吸入をします。 医師の回診で創部の状態を確認します。 歩行して問題がなければ、弾性ストッキングを脱ぎます。	医師の回診で創部に問題がなければ退院です。 
点滴		手術室で点滴を行います。		吐き気などなく食事がとれれば、日中に点滴が終了します。	
お薬	普段飲んでいるお薬、お薬手帳を確認しますので看護師にお渡しください。手術の際に飲むお薬を医師に確認します。 <b>夜9時に下剤を服用</b> します。	医師から指定された薬があれば少量のお水で内服します。 		朝から痛み止めの内服薬が開始になります。 医師からの許可があれば、普段飲んでいる薬も再開になります。	
食事	普通食（治療食の場合もあります） 消灯後は何も食べないでください。 夕食時に術前飲料水が出ます。	何も食べないでください。 朝まで術前飲料水を飲むことができます。 ・午前手術⇒朝7時まで ・午後手術⇒朝9時まで	術後の状態に応じて、医師に確認後、水分をとることができます。	朝からお食事（手術前と同じ食事）がでます。	
活動安静度	制限はありません。		手術後はベッド上安静になります。麻酔から十分覚めたら寝返りはできます。自分で起き上がりたり立ったりせず、看護師を呼んでください。	術後の経過が問題なければ、安静が解除され、午前中から歩行が可能になります。始めはふらついたり、気分が悪くなることもあるので、最初は看護師が付き添います。	
排泄			手術後は尿の管が入っています。排便はベッド上で便器を使用します。	安静が解除されれば尿の管を抜きます。抜けた後は、尿がしっかりでていることを確認するため尿をためていただきます。	
清潔	シャワーを浴びます。 			看護師がお着替えとお身体を拭くお手伝いをします。	入浴は医師の許可が出てからになります。
説明指導	入院時、普段の生活や過去のご病気、服用している薬についてお聞きします。また、看護師から入院生活、入院中の経過についてご説明いたします。手術の同意書、麻酔の同意書を看護師にお渡しください。		手術後、医師からご家族に手術経過の説明をさせていただきます。 	痛みや気分の不調があれば、我慢せず看護師にお知らせください。	退院後の生活と、次回外来の予約について看護師よりご説明します。退院に必要な書類を受け取っていただいてから退院になります。
その他		ご家族の方は手術予定時間の30分から1時間前にご来院ください。	手術後、安全管理のためナースステーションに近い病室へ移動することがあります。	通常、退院は午前中にお願ひしております。ご都合がつかない場合は、看護師にお知らせください。 	



**重い荷物を抱えたり、かんだりすることはしばらく控えて下さい。  
38度以上の高熱、創部が赤く腫れる、痛みが増強する、等あれば、次回外来を待たずに外来受診するようにしてください。**